

ひろば大代

号外

大代 まちセン

H24. 3. 21

大代小 大代小 全員で合唱、閉校惜しむ

140年近い歴史に幕を下ろし今月で閉校となる大田市大代町の大代小学校で18日、お別れの会があり、



閉校記念のタイル壁画をつくった大代小学校の全児童＝大田市大代町

最後の児童6人や地元の人たち約200人が名残を惜しんだ。

会では、絶滅が心配されるギフチョウの飼育などの体験を児童が発表。卒業生も含め全員で「ふるさと」を歌った。みこしを担ぐ子どもや校舎を児童が描いた記念のタイル壁画（縦1・

5段、横2・4段）の除幕式もあった。

1960年に卒業した実行委員長の佐藤哲朗さん（64）は「無くなるのは残念だが、時代に逆らえない」とあいさつした。

大代小は、50年代に児童数が300人を超えていた。高山小学校と4月に統合し、地元の児童はスクールバスで通学する。

（中村正夫）

朝日新聞2012. 3. 19

137年の歴史に幕

大田・大代小 閉校イベント タイル壁画除幕も

大田市の小学校統合に伴い3月末で137年の歴史に幕を閉じる同市大代町の大代小で18日、閉校記念行事が行われ、教職



自分たちで約3カ月半かけて作った閉校記念タイル壁画の前に立つ大代小の全校児童

閉校記念タイル壁画は縦1・45段、横2・4段。大代小校舎をバックにみこしを担ぐ児童の姿を描いている。

同小卒業生の農業、森守さん（68）同市大代町が描いた下絵を基に、児童たちが同小卒業生で宮大工の森下孝明さん（64）同市祖式町への指導を受け、約3カ月半かけて作った。

閉校記念行事では、児童が学習成果を発表し、児童と教職員が合唱などを披露した後、同小玄関に設置されたタイル壁画を除幕。参加者全員で、大代小への感謝の気持ちを込めて校歌を歌い、行事を締めくくった。

大代小は4月、約8キロ離れた高山小（同市上町）に統合され、大代町の児童は4月から新「高

山小」にスクールバスで通学する。

大代小4年、谷口怜里さん（10）は「大代小がなくなるのはさみしいが、仲間と一緒に高山小での学校生活を頑張りたい」と話した。

山陰中央新報2012. 3. 21

学び舎に「ありがとう」「歴史に幕

今年度で閉校となる大田市立大代小学校で十八日、閉校式とお別れの会が行われた。全校児童八人、地元住民や行政関係者ら約二百人が集い、別れを惜しんだ。



記念壁画を前に

大田・大代小で閉校式



ステージで歌う児童と教職員

希少種のギフチョウが生息する大江高山のふもとに位置する同校。一八七四(明治七)年とその翌年に開校した大家小と八代小が一九四八(昭和二十三)年に合併して歴史を刻んできた。

での卒業証書製作など、地域に根ざした活動を展開してきた同校。児童数が減少し、今年度は六人だった。地元住民らが主催したお別れ会では、児童が「大代の自慢」として、和紙やソバについて発表。「地域の皆さん、見守ってください」卒業生のみなさん、

ギフチョウの保護

や、大代町で育てたミツマタで製造した和紙

ありがとうごさいます」と大きく声をそろえた。

また、閉校を記念して児童や教職員らが、昨年の秋から製作を進めた壁画の除幕も行われた。この壁画は、同

校の卒業生が原画と木枠を作り、児童らがタイルを貼って完成させた。

同校の児童は、来年度から、統合した高山小へバスで通つ。

島根日日新聞2012. 3. 21